

2基目の



青海公共埠頭に新しいコンテナクレーン稼動！

青海公共埠頭に3月から稼動したコンテナクレーン(AC16号・15列)に続き、新しいコンテナクレーン(AC15号・15列)が設置され、8月1日より稼動しました。

青海公共埠頭は、コンテナ取扱数で国内トップを誇る東京港の主要な埠頭です。そこで、老朽化が進んだ4基のクレーンについて更新工事を発注し、信頼性及び機能の向上を図っています。今回設置されたAC15号はその2基目となります。

AC15号の稼動により、青海公共埠頭は全てのクレーンでデッキ積列が15列以上、オンデッキ5段積み以上に対応し、荷役の高機能化が実現いたしました。残る2基につきましても、次年度以降に順次更新いたします。

当社は、今後ともユーザーの皆様のニーズに応え、計画的に施設を整備してまいります。ご期待ください。

新旧クレーン主要諸元

	デッキ積列数	アウトリーチ	揚程 (レール面上)	巻上速度 (無負荷)	横行速度	走行速度
新クレーン (AC15~18号)	15列	43.4m	34.8m (5段積対応)	150m/分	180m/分	45m/分
旧クレーン (AC11, 12号)	13列	37m	27m (4段積対応)	120m/分	150m/分	45m/分



写真 新コンテナクレーン(AC15号)

東京港埠頭株式会社

技術部 設備課 機械係

03-3599-7456